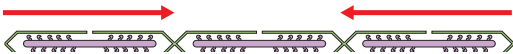
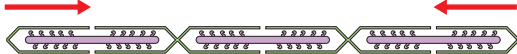
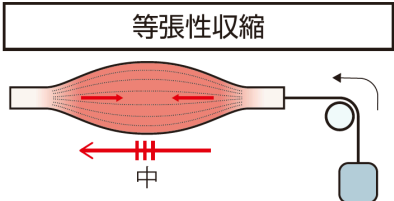
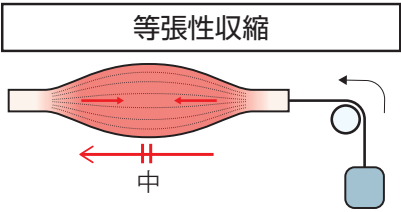
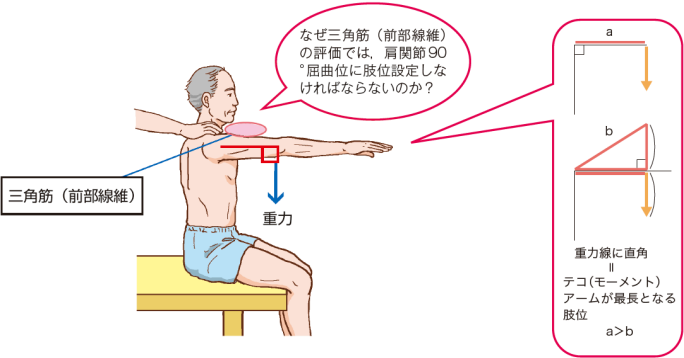
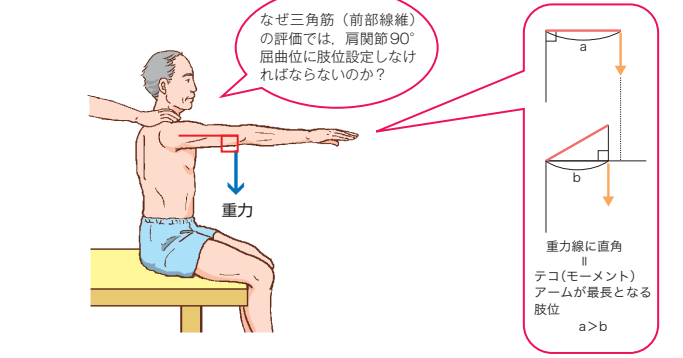


『臨床での検査精度を高める！ MMT－適切な検査肢位の設定と代償運動の制御』第1版第1刷(2019年4月10日)に誤りがありました。ここに慎んでお詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正させていただきます。

(2019年5月23日 メジカルビュー社編集部)

ページ	該当箇所	誤	正
p.10	図3f 図タイトル	多尾筋	多頭筋
p.11	図5b		 矢印の長さを半分にし、イラストの下部の途切れを修正。
p.15	図14 キャプション, 9行目	長くても(緊張状態)	長くても(過緊張状態)
p.17	図20, キャプション, 1行目	前部線維の外転作用に加えて,	中部線維の外転作用に加えて,
p.20	図24, 左図	 筋肉が加わっている力が一定	 筋肉に加わっている力が一定 キャプションと図中矢印(筋の下側)上の線の本数の修正。
p.24	図3 タイトル	被検査者の運動	被検査者による運動方向
p.24	図4 タイトル	検査者の運動	検査者による抵抗方向
p.25	図6 タイトル	被検査者の運動	代償運動
p.25	図7 タイトル	検査者の運動	代償運動の制動

p.27	図12		 <p data-bbox="1753 499 2056 563">左図の「三角筋(前部線維)」の削除と、右図の修正。</p>
p.40	「代償の特徴」, 1行目	体幹の 屈曲 と同側への回旋により,	体幹の 伸展 と同側への回旋により,
p.174, 186, 192	ページ下部に矢印の凡例を挿入	→: 被検査者による運動方向, ←: 検査者による抵抗方向	
2章以降	ページ下部, 矢印の凡例	矢印の示す意味を以下に統一 →: 被検査者による運動方向 ←: 検査者による抵抗方向 ⇨: 代償運動	
2, 3, 5章のMMT段階判別フローチャートのページ	「段階: 5および4」の1行目	以下の文言に統一 この段階では, 加えた徒手抵抗の強度で判定する	
2章以降のMMT段階判別フローチャートのページ	除重力位	除重力	除重力
2章以降のMMT段階判別フローチャートのページ	抗重力位	抗重力	抗重力

ただし, p.360を除く。